

平成 29 年度 県立向の岡工業高等学校 不祥事ゼロプログラム<検証結果>

取組課題	目標	行動計画	検証結果
法令遵守意識の向上	公務員としての自覚を高め、日常の行動・発言についてのモラル向上に努める。	① サービスや不祥事防止の内容について周知・徹底する。 ② 公務外非行防止に向けた啓発活動を行う。	良好である。
セクハラ・パワハラ・わいせつ行為の防止	セクハラ・パワハラ・わいせつ行為のない職場環境作りを推進する。	① 職務上や能力上などの優越的な権力を用いて行動・発言しないよう啓発する。 ② 携帯電話・電子メールの適切な使用について確実な周知を図る。	良好である。
体罰, 不適切な指導の防止	職員間の連携を密にしつつ指導体制を整え、体罰や不適切指導を防止する。	① 体罰は決して行ってはならない行為であることを正しく理解するよう啓発活動に取り組む。 ② 職員一人ひとりに、生徒理解に基づく体罰によらない指導を徹底する。	良好である。
成績処理及び進路関係書類の作成及び取り扱いに係る事故防止	点検体制を改めて見直すとともに、本校で定めたマニュアルに基づく確実な業務の実施を徹底する。	① 業務上の注意マニュアルの理解・徹底に努め、余裕をもって計画的に業務を遂行する。	良好である。
個人情報等の管理, 情報セキュリティ対策 (パスワードの設定, 誤廃棄防止)	個人情報の適切な取り扱いと情報の漏えい防止を徹底する。	① 対策重要度 I の情報の適切な管理に努め、持ち出し許可願いの提出を徹底する。 ② 校内で使用されているパソコンのプログラム更新等については担当者を定めて確実に実施する。 ③ 無料通話アプリによる個人情報の漏えい等について、様々な機会を通じて注意喚起する。	良好である。
交通事故防止, 酒酔い・酒気帯び運転防止, 交通法規の遵守	交通事故および飲酒運転を絶対に起こさないようにする。	① 様々な機会を捉えて職員に安全運転を呼びかけるとともに、事故発生時の報告・対応等を適切かつ迅速に行う。 ② 学校全体で交通法規遵守の意識を高める。	良好である。
業務執行体制の確保等(情報共有, 相互チェック体制, 業務協力体制)	経理における適正な執行と処理を行い、備品の点検を徹底し事故発生を防ぐ。	① 私費会計の適正な処理について、全職員へ事故防止研修を行う。 ② 各教科やグループで、備品台帳をもとに備品の現物照合を確実にを行う。	良好である。
入学者選抜業務における事故防止	選抜方法の理解・徹底に努め、入学者選抜業務における不祥事防止に努める。	① 選抜業務上の注意・マニュアルの理解徹底に努め、余裕をもって計画的に業務を遂行する。	良好である。